

宇都宮市立御幸小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫	・児童が自ら問いをもち、主体的に取り組めるような学習活動の工夫 ・児童の興味・関心・意欲を高め、進んで追究したくなるような課題提示の工夫	・各教科において「勉強は好きですか。」の質問では、肯定的回答の割合が低い。しかし、「勉強は大切だと思いますか。」の質問に対しての肯定的回答は、どの教科でも高い割合を示し、県平均を上回っているものも多かった。
・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着	・朝のぐんぐんタイム(漢字・計算・読書・音読・読み聞かせ)の充実 ・「スマイルネクストドリル」「宮っ子学カステップアップシート」(年5回全校実施)の活用 ・習熟度別学習、T・Tの活用	・国語においては、文章を書く問題や和語、漢語、外来語についての理解についての問題は正答率が高いが、漢字の書き取りについては正答率が低かった。算数では、文章題に合った式を選ぶ問題は正答率が高いが、小数や分数の計算については正答率が低かった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・漢字の書き取りや四則計算の問題では、基礎的内容の理解が不十分であったため、小テストや宮っ子ステップアップシート、タブレットを活用し、朝の学習の時間や宿題等で補充的な学習を繰り返して行い、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図っていく。

・計画的に自分から進んで学習することにおいては、肯定的回答が低く、課題が見られた。家庭学習に主体的に取り組もうとする態度が十分育っていないこともうかがえた。学年の発達段階に合わせた「家庭学習のすすめ」や「家庭学習カード」を活用し、児童が計画的に学習に取り組めるよう指導を工夫していく。また、学年だよりや年度初めの懇談会等で、家庭学習の取り組み方について保護者に理解と協力を求め、家庭との連携を図っていく。